

地方創生加速化交付金

担当課	商工観光課
-----	-------

No.	交付金事業の名称	総事業費	交付決定額	実績額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)
1	グローバルITパーク推進事業	53,329,873円	63,000,000円	52,832,143円	グローバルITパーク勤務者数 20人 グローバルITパーク進出企業数 16社 認定創業者数 10人/年 光ファイバー回線加入率 61.50%
事業概要(目的)			交付金充当経費の内容		
○南魚沼市役所大和庁舎の空きスペースを活用し、分割したワークスペースを設け「グローバルITパーク」として整備。民間コンサルティング事業者と協定を結び、海外のIT企業を誘致し平成28年夏季のオープンを目指す。 ○国際大学との連携により海外のIT技術者に対し異文化理解や日本語教室等の機会を提供し、IT人材の地域との親和性を高め事業継続性を向上させる。 ○海外のITパークの先進地事例の調査及び周知広報活動、企業マッチング等を実施。 ○ITパークにコーディネーターと若者雇用推進コンシェルジュを置き、入居企業の通訳やビザ取得、財務管理、労務管理などのサポート及び連携支援、入居企業への就業支援(インターンシップ等含む)を実施し、若い世代の地元回帰や定住を促進。			1. 南魚沼市役所大和庁舎の空きスペース(1階フロア約250㎡)を改修して16区画のワーキングスペース、共用施設を整備し「グローバルITパーク」を設置。 ・施設改修工事費: 24,887,304円 2. ITパークの事務用品類の購入 ・備品購入費: 1,265,500円 3. (海外ITパーク先進地調査) 海外ITパーク先進地の調査等を行い、事業発展の基礎調査及び企業選定調査を実施。 ・基礎調査及び企業調査委託: 2,500,000円 4. (グローバルITパークのPR広報事業) グローバルITパークのオープニングイベント開催に合わせてPR広報活動を国内外で行い、IT企業の誘致を推進、また、IT企業の技術力を周知するイベントとしてIT技術フォーラムを開催し、国内企業との商談の推進を図った。 ・ITパークのパンフレット作成、メディア広告宣伝費: 1,201,600円 ・ITパーク・オープニング・イベント設営開催委託: 2,384,728円 ・IT技術フォーラム会場設営・開催委託: 3,600,164円 ・海外PRイベントの開催委託: 4,077,000円 (海外における宣伝広告の実施及びPR効果についての市場調査(対象地域: 東南アジア)) ・事務費: 485,311円 5. (ビジネスマッチングプログラム開発事業) 海外企業と国内企業のビジネスマッチングを進めるためのプログラムを構築し、イベント時に使用することで入居企業の受注率を高める取組を実施。 ・実施費用: 1,000,000円 6. (IT技術者を対象とした日本語・文化講座開催事業) ITパーク入居企業の技術者や首都圏のIT技術者予備軍を対象に文化交流を進める取組として、ビジネス文化への対応講習や、与えられたテーマをそれぞれのアイデアを持ち寄り決められた時間内に問題の解決方法を模索するイベント(アイデアソン)などを実施。 ・実施費用: 3,319,121円 7. (ITパークビジネスコーディネーター派遣事業) ビジネスコーディネーターをITパークに置き、入居企業のサポートや連携の支援、また、国内企業との連絡調整、企業マッチングや商談機会の提供を実施。 ・実施費用: 3,983,655円 8. (若者雇用推進コンシェルジュ人材派遣事業) ITパークやIT技術に関心のある若者に対し、当市へのIUターン希望や定住希望が増えるよう対外的なPRや具体的なセミナー等を進めるため、コンシェルジュを選定し、首都圏や当市において若者の移住や雇用の促進事業を実施。 ・実施費用: 4,127,760円		

【政策分野1】 力強く魅力的な産業を育て雇用を創出する
 【基本的施策】 1-1 商工業の振興と起業・創業の支援
 ■ 起業・創業の「種」を見出し、育てる

指標No.	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	H31目標値	把握方法
0504	認定創業者数	— (新規事業)	毎年10人	担当課で把握
0504	商工会会員数【再掲】	1,714人 (H26)	現状維持	各商工会総代会議案(補助金実績報告書)

H28重要業績評価指標 (KPI) 実績値	7	グローバルITパーク勤務者数(雇用契約書で把握)
	5	グローバルITパーク進出企業数(入居契約書で把握)
	6	認定創業者数(人/年)
	65.81	光ファイバー回線加入率(%)
事業効果について	③	① 地方創生に非常に効果的であった ② 地方創生に相当程度効果があった ③ 地方創生に効果があった ④ 地方創生に効果がなかった
事業評価について	①	① 総合戦略のKPI達成に有効であった ② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
外部有識者からの意見		・目標の16社呼び込んで、継続的に事業を展開できるよう取り組んでいただきたい。 ・IT関連企業を国外から進出させるインセンティブがないと、進出企業を増やしていくのは現実的にはハードルが高い。当地でやることで成功する部分を訴求していくことが大切。 ・東京の企業とインド、スリランカの企業との橋渡しをするオフショアのコンサルティング会社を入れてみてはどうか。 ・ITパークの入居企業と地元企業はあまり結びつかないと思う。 ・自治体など年度予算単位で動いているところもあるので、日本のそういうところも含めてマッチングが必要だと思う。 ・特定の分野に特化したIT企業を集積させることで、優位性が大きく出てくるのではないか。
実績値を踏まえた事業の今後の方針について	②	① 追加等さらに発展させる ② 事業内容の見直し(改善) ③ 事業の継続 ④ 事業の中止 ⑤ 予定通り事業終了
今後の方針(上記)の理由		地方への海外IT企業の集積というほとんど前例のない、非常に特色ある事業であり、入居企業数の増などの課題を解決するため入居企業、関係機関と協議しながら進めていきたい。 海外の企業の日本への進出については、海外に比べ障害は多いため、ITパークのコンサルト会社のアダムインベーション社と協議しながら、テンポラリーオフィスを開放し、短期間での海外企業の「お試し入居」を実施し、興味を示している海外企業が日本のマーケットを実際に調査研究する機会を提供してITパークへの入居企業数を増加するように努力する。 引き続き入居企業は国内での営業活動を行い、グローバルITパークの認知度の向上、自社の営業活動を行う。市内でのITパーク認知度アップを図るため、市内企業のホームページや飲食店のメニューの英文化などを入居企業が支援することにより、市内企業とのつながりを深め、ビジネスマッチングにつなげていきたい。 入居企業の営業活動が活発化することで、雇用の創出が生まれ、将来的にITパークで雇用された若者等が市内で起業できるよう、環境の整備や支援を行っていきたい。

地方創生加速化交付金

担当課	U&Iときめき課
-----	----------

No.	交付金事業の名称	総事業費	交付決定額	実績額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)
2	「生涯活躍のまち」構想推進事業	15,656,950円	15,745,000円	13,903,510円	お試し居住申込者 40人 施設入居戸数 0戸 南魚沼CCRCビジネス研究会参加事業者数 20社
事業概要(目的)			交付金充当経費の内容		
<p>これまでの成果と課題を「南魚沼版CCRC推進協議会」で総合的に検討し、具体的な事業内容や事業効果を明確にした事業の枠組みを示し、同時に、事業主体を明確にしながら、移住者の居住施設を建設する民間事業者の選定を行う必要がある。</p> <p>●そのため、地域再生計画「生涯活躍のまち形成事業計画」策定前の取組として、本交付金の活用により、事業内容や建設する民間事業者の選定基準、建設方法等を基本計画としてまとめ、事業の枠組みを確立し、民間事業者の選定を進めるとともに、移住者に提供するサービス(住宅の形態、就業機会、生涯学習機会、継続的なケアの仕組み等)の具体化を図りたい。</p> <p>●併せて、本市への移住の関心をより高め、具体化するため、情報発信ツールの一元的な運用体制の構築及びお試し居住を実施し、移住希望者が移住後の自分の姿を具体的にイメージできるように取り組みを進めたい。</p>			<p>1. 南魚沼版CCRC推進協議会運営費 事業化に向けた基本計画策定のための協議会開催経費:744,830円</p> <p>2. 南魚沼版CCRC構想基本計画策定事業 行政と事業主体、関係事業者等の役割分担や事業効果、事業期間等を明確化した基本計画案策定経費:5,232,000円</p> <p>3. 中高年齢者向け移住希望者への見える化事業 当市が現在運営している移住者向けウェブサイトを大幅に見直し、移住情報のプラットフォーム化を図った。 特集ページを更新・追加するとともに、地域特派員による投稿を定期的に掲載した。 ・業務委託料:4,848,336円</p> <p>4. 移住に向けたお試し居住の実施 移住への関心は中高年齢者に限らず若い年代も高い。CCRCによる新たな雇用の創出を見込み、幅広い年齢層のお試し居住を実施し、本市への関心を高める取組を実施。 ・業務委託料:2,981,880円 CCRC移住定住促進「セカンドライフ塾」企画運営を2クール実施 ・会場借上料:96,464円 オリエンテーション等会場借り上げ</p>		

【政策分野1】 力強く魅力的な産業を育て雇用を創出する
 【基本的施策】 1-4 メディカルタウン構想、CCRC構想に基づく産業振興
 ■地域の魅力向上と医療の拠点性を活用し、雇用を創出する

指標No.	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	H31目標値	把握方法
	お試し居住参加者数	(新規事業)	20組40人	担当課で把握
	移住希望者の相談件数	(新規事業)	50件	担当課で把握
	大和スマートICの1日当たりの出入別交通量	987台 (H26)	1,000台	担当課で把握

H28重要業績評価指標 (KPI)実績値	51組53人	お試し居住申込者(人)
	0	施設入居戸数(戸)
	23	南魚沼CCRCビジネス研究会参加事業者数(社)
事業効果について	②	①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった
事業評価について	①	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
外部有識者からの意見		・お試し居住に来た方の話を聞き、今後の進め方に反映させてみてはどうか。 ・もっと市民に理解してもらえるように情報発信をした方がいい。 ・PR活動を行うことが、市民への理解や来る方とのマッチングにもつながると思うので、そこに力を入れていただきたい。
実績値を踏まえた事業の今後の方針について	②	①追加等さらに発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業終了
今後の方針(上記)の理由		移住体験ツアーからお試し居住へスムーズに誘導するための手法と多様なニーズに対応するコーディネート機能を検討し実施する。

地方創生推進交付金

担当課	U&Iときめき課
-----	----------

No.	交付金事業の名称	総事業費	交付決定額	実績額			
3	「住まう歓びを感じるまち 南魚沼」実現プロジェクト	38,158,302円	20,040,000円	18,301,601円			
本事業における重要業績評価指標 (KPI)							
	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の累計
H33年3月末時点でCCRC施設への入居者を含めた移住者の増	0	0	100	100	100	100	400
毎年度市内でのお試し居住者数	12	40	50	50	50	50	240
H33年3月末時点でCCRC施設及び周辺での起業・創業や企業・事業所の増加件数	0	5	10	10	10	15	50
事業概要(目的)		交付金充当経費の内容					
市人口ビジョンによる2060年43,000人の人口確保を目指し、CCRC構想の推進による首都圏からのアクティブシニア層の移住と、若者の移住・定住を推進する。誰もが「住まう歓びを感じるまち 南魚沼」の実現に向け、観光や地域資源を活用した共同マルシェの開発など、移住者と住民の交流を促進する。また、快適な住環境に必要な市道・水路の改修整備を進め移住者・居住者の安全安心の確保を図る。さらに産官連携により海外からのIT企業を誘致するグローバルITパークをはじめ、学術機関、医療機関、その他の産業等との連携により、医療・介護サービスも含めたソフト事業を提供し、移住者・在住者を問わず住みやすく快適に暮らせる魅力あるまちづくりを実現する。		(補助率1/2) 1. 生涯活躍のまち連携実施事業者選定事業 CCRC関連施設の民間活力による整備に向け、連携できる事業者を選定するための業務委託:12,565,276円 2. 地域再生計画・生涯活躍のまち形成事業計画策定業務 生涯活躍のまちを実現するために策定する地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業計画)の策定業務委託:10,768,000円 3. 若者向け移住定住促進事業 若者定住促進のためのライフスタイルマガジン「Life in」関係の作成業務委託: 2,527,200円 4. 首都圏での若者移住・定住促進セミナー実施事業 首都圏における40歳以下の年齢層を対象とした移住・定住セミナーのPR募集、ワークショップの実施業務委託:1,836,000円 5. 地域再生推進法人設立事業 地域再生計画に基づく当該地域で移住・定住関係サービスや地域活性化を進める法人の設立経費:3,716,052円 6. 移住者・移住希望者受入支援事業 市内移住者ネットワークの構築 移住推進協議会への支援業務委託:737,200円 7. 移住体験ツアー実施事業業務委託:1,288,000円 国際大学、地域住民等交流事業及びアクティブシニア層の移住体験ツアー実施 8. 若者お試し居住実施事業業務委託:724,350円 首都圏若者層の移住体験ツアー、お試し居住の受け入れ業務 9. 関東圏移住・定住促進イベント出展事業 ロングステイフェア2016出展実施業務委託:551,124円 10. 移住希望者向けライフプランイメージ動画作成業務委託:486,000円 若者向けの移住ライフプランイメージをPRする情報ツールの作成 11. 移住定住希望者への空き家バンクシステム導入業務委託:1,404,000円					

【政策分野1】 力強く魅力的な産業を育て雇用を創出する

【基本的施策】 1-4 メディカルタウン構想、CCRC構想に基づく産業振興

■地域の魅力向上と医療の拠点性を活用し、雇用を創出する

指標No.	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	H31目標値	把握方法
	お試し居住参加者数	- (新規事業)	20組40人	担当課で把握
	移住希望者の相談件数	- (新規事業)	50件	担当課で把握
	大和スマートICの1日当たりの出入別交通量	987台 (H26)	1,000台	担当課で把握

H28重要業績評価指標 (KPI)実績値	104	CCRC施設への入居者を含めた移住者の増
	17組20人	毎年度市内でのお試し居住者数
	12	CCRC施設及び周辺での起業・創業や企業・事業所の増加件数
事業効果について	②	①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった
事業評価について	①	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
外部有識者からの意見		・お試し居住に来た方の話を聞き、今後の進め方に反映させてみてはどうか。 ・もっと市民に理解してもらえるように情報発信をした方がいい。 ・PR活動を行うことが、市民への理解や来る方とのマッチングにもつながると思うので、そこに力を入れていただきたい。
実績値を踏まえた事業の今後の方針について	②	①追加等さらに発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業終了
今後の方針(上記)の理由		地域再生推進法人の事業活性化を図り、移住定住施策を推進する。移住定住希望者の受け入れ支援の多様化に対応し、業務通年化を実現する。

地方創生加速化交付金

担当課	商工観光課
-----	-------

No.	交付金事業の名称	総事業費	交付決定額	実績額	本事業における重要業績評価指標 (KPI)
4	中越文化・観光産業支援機構(仮称)による歴史資源を活かした観光振興	1,199,048円	1,200,000円	1,199,048円	観光入込客数 4,094,400人
事業概要(目的)			交付金充当経費の内容		
<p>本事業は、中越地域の近隣市町村が連携し、「中越文化・観光産業支援機構(仮称)」を立ち上げ、地域の豊富な文化資源の価値を、訪れる人それぞれの目的、テーマに応じて的確に伝えるコンテンツを整備するとともに、到着から移動、食事、宿泊、体験、帰路まで、すべてを総合的にマネジメント、プロデュースする体制と取り組みを、地方公共団体、商工会、文化関係団体、金融機関、交通事業者、食の提供事業者等の関係者によって構築、促進し、来訪者に文化的な刺激、充足感を提供することで、地域の新たな文化観光産業の振興及び雇用の確保につながる交流人口の拡大を図るものである。</p> <p>地域が連携して、それらを総合的にプロデュースする広域連携機構を設立するとともに、事業実施会社を設立し、あわせてそのプロデュースに基づく必要な施設等の整備、改善等を行うことを計画している。そして、観光による外需から新たな産業化・雇用創出の好循環を実現し、人口減少に歯止めをかける。なお、事業期間は平成28年度中としているが、今後作成される地域再生計画に継承していくことを予定している。</p>			<p>●インフラツーリズムに着目し、当地域にある「ダム」を観光資源として活用した旅行商品の開発を進めるため、国土交通省のダム管理事務所等協力をいただきながら、試験事業としてのダム見学を含めたモニターツアーを企画・実施した。</p> <p>・実施費用:1,199,048円</p> <p>1. 観光インフラ「ダム」PR用の広告用冊子及びノベルティ(ダムカード)の作成と配布 ・ダムマップ(10,000枚) ・ダムカード(三国川ダム:1,000枚、二居ダム:1,000枚)</p> <p>2. モニターツアーの企画・実施(魚沼市と共同で実施) ・実施期日:3月25日～3月26日の2日間 ・参加者数:12人(うち県外者7人)、ほか講師1人 ・実施内容:魚沼地域の積雪期のダム見学 ・行程:1日目:道の駅ゆのたに→奥只見ダム→魚沼市内宿泊 2日目:宿泊地→破間川ダム→葦神ダム→三国川ダム→道の駅ゆのたに ・参加費:16,000円(中学生以上)、15,000円(小学生) (観光バス代、宿泊代(1泊2食付)、昼食1回、旅行傷害保険代として)</p>		

【政策分野2】 地域資源を活用し、新しいひとの流れをつくる
 【基本的施策】 2-3 地域資源を活かした質の高い観光交流の推進
 ■地域資源の「南魚沼ブランド」化による観光交流を推進する

指標No.	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	H31目標値	把握方法
0503	観光入込客数	401万人 (H26)	420万人	南魚沼市観光動態調査
	食によるまちおこしイベントの域外からのエントリー数	3,371人 (H26)	10,000人	担当課で把握

H28重要業績評価指標 (KPI)実績値	3,762,470	観光入込客数(南魚沼市) ※南魚沼市観光動態調査で把握
事業効果について	③	①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった
事業評価について	①	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
外部有識者からの意見		・雪国観光圏もあるので、同じような仕組みが複数あると、どこが何をやっているのかわからなくなるので、そのあたりの整理も必要ではないか。 ・ダムを推すのであれば、もっと市民へのPRが必要ではないか。 ・民宿の方は入場料を負担して、お客を美術館等に連れて行っている。そういう負担がなくなれば、もっと民宿の方が地元貢献してくれるのではないか。
実績値を踏まえた事業の今後の方針について	②	①追加等さらに発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業終了
今後の方針(上記)の理由		当市には、三国川ダムの1カ所しかなく、ダムのインフラツーリズムとして実施していくには、魚沼市(7カ所)や湯沢町(1カ所)にあるダムと組み合わせ、定住自立圏内で連携して進めることが必要である。また、融雪期、梅雨、渇水期、台風時期、積雪期など気象条件などで施設への立入りが制限される場合もあるため、ツアーの実施が限定される恐れもある。 このようなことから、ダムだけでなく、他のインフラや観光資源も組み合わせ、より魅力的なインフラツーリズムとして企画、発信していきたい。

地方創生推進交付金

担当課	商工観光課
-----	-------

No.	交付金事業の名称	総事業費	交付決定額	実績額			
5	中越文化・観光産業支援機構による歴史資源・行政視察を活用した広域観光	995,628円	500,000円	497,814円			
本事業における重要業績評価指標(KPI)							
	事業開始前(現時点)	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)	平成30年度(3年目)	平成31年度(4年目)	平成32年度(5年目)	KPI増加分の累計
連携市町村への観光客入込客数 H26年度比15%増	26,412,549	1,320,624	528,248	528,251	697,447	1,372,503	4,447,073
連携市町村内の観光消費額 RESASとの連携等による「観光地域経済の見える化調査を活用し、観光消費額の上昇を目指す(12市町村従前値なし)	—	—	—	—	—	—	—
事業概要(目的)		交付金充当経費の内容					
<p>地方創生加速化交付金を活用し、中越地域の近隣の12市町村が連携し、移動、食事、宿泊までを総合的にプロデュースする「中越文化・観光産業支援機構(以下、「機構」という。)」を立ち上げたところである。</p> <p>この機構と近隣の自治体、観光業界、金融機関、大学、関係団体等の協力によって、季節観光から通年観光、日帰り・単発イベント観光から滞在型観光に転換することで、観光を一大産業として成長させ、観光による外需から新たな産業の振興及び雇用の確保につなげ、人口減少に歯止めをかける。</p> <p>地域の豊富な文化資源の価値を、訪れる人それぞれの目的、テーマに応じて的確に伝えるコンテンツを整備するものである、</p> <p>また、新たな観光商品としての芽が出つつある行政視察にも取り組み、地方公共団体・議会・中央省庁、さらには全国の金融機関、大学等をターゲットに、地方創生の全国モデルとなりうる事業の紹介や事業推進のほか、機構と連携し事業のPRと行政視察の案内を全国に向けて実施し、来訪者の増加を図るものである。そして、将来的には総合的なマネジメント及びプロデュースを、機構が行う。</p>		<p>(補助率1/2)</p> <p>●中越地域内の、特に近隣自治体と連携し、今後の当地域への来訪者の増加を図るため、当地域の歴史資源、観光資源を活用した広域連携モニターツアーを企画・実施し、その実施結果についてアンケートを行った。</p> <p>・実施費用：滞在型観光PR、プロモーション事業等実施業務 995,628円</p> <p>●事業実施内容</p> <p>1. 「越後の匠」ものづくりにふれる旅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：12月10日～11日の2日間(市内温泉ホテルに宿泊) ・実施地：小千谷市・燕市・南魚沼市・魚沼市 ・見学地：小千谷市総合産業会館(錦鯉の里散策、錦鯉観賞)、燕市匠体験(匠の技見学、タンブラー磨き体験)、西福寺開山堂(雲蝶彫刻の見学)、越後ワイナリー(雪室貯蔵庫見学)、塩沢つむぎ記念館(機織り体験) ・参加者数：16人(全て県外者。応募者17人) ・参加者費：10,800円～14,040円(部屋タイプによる)(宿泊費、飲食代、旅行保険料等) <p>2. 越後の奇祭と名酒めぐりの旅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：3月3日～3月4日の2日間(市内温泉ホテルに宿泊) ・実施地：長岡市、魚沼市、南魚沼市、津南町 ・見学地：朝日酒造、玉川酒造、裸押し合いまつり、魚沼の里、青木酒造、苗場酒蔵、JR越後湯沢駅ぼんしゅ館 ・参加者数：16人(うち県外者14人。応募者25人) ・参加料金：8,640円(宿泊費、飲食代、旅行保険等) <p>3. アンケートの実施：参加者に満足度他に関するアンケートを実施し、その効果を検証した。</p>					

【政策分野2】 地域資源を活用し、新しいひとの流れをつくる
 【基本的施策】 2-3 地域資源を活かした質の高い観光交流の推進
 ■地域資源の「南魚沼ブランド」化による観光交流を推進する

指標No.	重要業績評価指標(KPI)	基準値(基準年)	H31目標値	把握方法
0503	観光入込客数	401万人(H26)	420万人	南魚沼市観光動態調査
	食によるまちおこしイベントの域外からのエントリー数	3,371人(H26)	10,000人	担当課で把握

H28重要業績評価指標(KPI)実績値	703,776	観光入込客数(連携12市町村への観光入込客当年度増加数) ※各自治体の観光動態調査で把握
事業効果について	②	①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった
事業評価について	①	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
外部有識者からの意見		・雪国観光圏もあるので、同じような仕組みが複数あると、どこが何をやっているのかわからなくなるので、そのあたりの整理も必要ではないか。 ・ダムを推すのであれば、もっと市民へのPRが必要ではないか。 ・民宿の方は入場料を負担して、お客を美術館等に連れて行っている。そういう負担がなくなれば、もっと民宿の方が地元へ貢献してくれるのではないか。
実績値を踏まえた事業の今後の方針について	①	①追加等さらに発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業終了
今後の方針(上記)の理由		今回は地域の特徴ある2種類の観光資源に着目したツアーを企画、宣伝、実施したが、今後、アンケート結果に基づきながらツアー内容の見直しを進め、いろいろな需要に対応できるツアーを用意することによって、入込者数や、滞在者数の増加を図る。 また、周辺自治体との調整の機会を増やし、広域連携メニューの拡大と多様化を図りたい。